国際保護連合（IUCN）に

“世界の侵略的外来種ワースト100”に選ばれた

ツヤハダゴマダラカミキリ

の生息が確認されました。

令和4年2月までに8県21市町から発見情報！！

（宮城県・福島県・茨城県・埼玉県・富山県・愛知県・兵庫県・山口県）

※本虫は海外において、幅広い樹種の樹木に甚大な被害を及ぼしています。

〇体長　雄成虫 ： 20～29mm
　　雌成虫 ： 22～35mm

〇体色　全体に光沢のある黒色で鞘翅に約20個の白色～黄斑がある

〇触角　12節で、3～12節には明瞭な白色の帯がある
　　雄は体長の2.5倍
　　雌は体長の1.3倍と長い

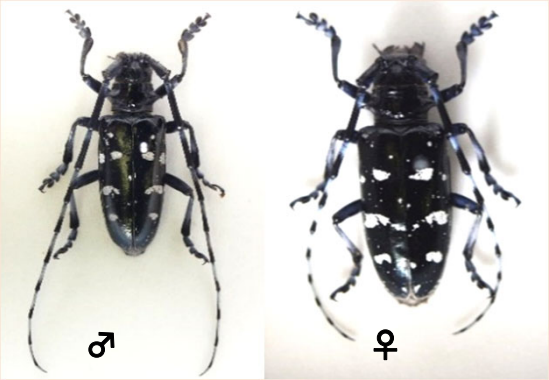
〇成虫は5月～10月に出現

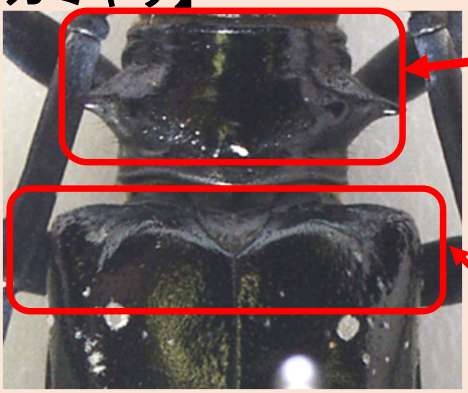
〇1年に1世代で、卵・幼虫・蛹態で越冬

雄成虫　　雌成虫

在来種のゴマダラカミキリとの見分け方

【外来種ツヤハダゴマダラカミキリ】

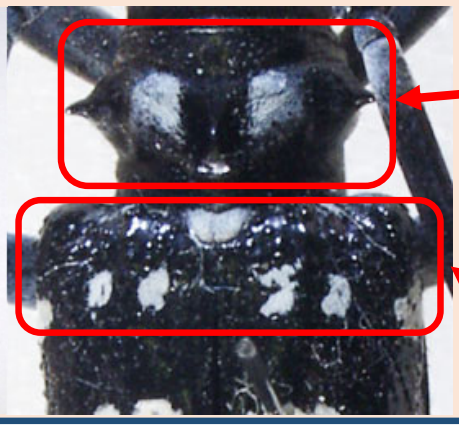




『前胸背』
・ 白紋を持たない

『上翅基部』
・ 顆粒状突起を持たない
・ 白紋を持たない
・ 小楯板は白色軟毛に覆われない

【在来種ゴマダラカミキリ】



『前胸背』
・ 中央に2つの白紋を持つ

『上翅基部』
・ 顆粒状突起を持つ
・ 白紋を持つ
・ 小楯板は白色軟毛に覆われる

林野庁 研究指導課 森林保護対策室